

2月 みぬま☆広場

あっという間に2016年が過ぎ、2017年の年明けです。

寒さが厳しさを増しているこの時期、なかなか外に出られない利用者様にもお正月気分を味わって頂きたい…ということで今年も1/1～1/3までの3日間でお正月行事を開催しました。

初日の1/1は初詣。手作りではありますが、それなりにご利益のある(?)鳥居と小さな社を飾り、賽銭箱とお参り用のお金(紙幣がデザインされたメモ帳)とおみくじを用意し、朝食を終えた方からお参りして頂きました。

皆様それぞれに一年のお参りをされ、おみくじの内容に一喜一憂している姿も見られました。中には本物の硬貨をいれる方もいらっしゃいました。



3階療養棟

午後にはカラオケを使用しての歌謡ショーを開催。職員がダンスや歌を披露し、最後は全員で「お正月」を合唱しました。



2日目はお正月の遊びを楽しんでいただくためにカルタ大会をおこないました。

少人数のグループに分け、大きめに手作りされたカルタを数枚敷いて、お目当てのカルタにお手玉を投げて取る方式としました。

なかなかカルタの字が読めない方、取ろうとしてもお手玉がその上に乗らない方など様々でしたが、皆様楽しまれていたようです。

みぬまでお正月 初詣におみくじ



3日目は書初めをおこないました。字がうまく書けないからと尻ごみした方もいらっしゃいましたが、職員に勧められ一緒にやるなどとして参加していただきました。

全員ではありませんでしたが、皆様が書かれたものを大きな一枚の台紙に張り付けると、様々な形の字があり、それが何とも言えない良い味を出しており、自分のが張りだされることに恥ずかしさを訴えていた方も「これはこれでいいね」と感想を述べられていました。

この字のように、皆様それぞれに良い一年となりますように…



既存棟と増築棟の接続部の工事を開始しました。仮壁を設置し、安全面、騒音対策等行っていますが、利用者の皆様にはご迷惑、ご不便をおかけいたします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。 事務長 山口

みぬま 建設ニュース

No.14
発行日:2017年2月1日
老人保健施設みぬま建設委員会

①工事工程について



7月オープンに向けて、竣工式や内覧会のお知らせも含めた地域訪問活動を5月に計画しています。建設委員会やボランティアさんの声を反映させたいと思います。建設委員会では内外装の床・壁・居居扉などの材質や色について検討しています。また増築棟と既存棟を結ぶ工事も開始され、外壁の一部が仮壁となりました。外気の影響による寒さ対策や療養棟のボランティア室・職員休憩室の移動、通所もレイアウト変更によるリハビリマシンの移動を実施しました。

②設備の高さを調節



洗面台・便器の高さを医師・リハビリ・看護・介護職員・建設業者で検討しています



③地域交流スペース

【ネーミングについて】
1月20日現在、ネーミングは約50通応募がありました。2月3日の建設委員会にて決定します。
【利用規定について】
文言の統一や予約手順などについて検討しています。

④介護職の紹介運動

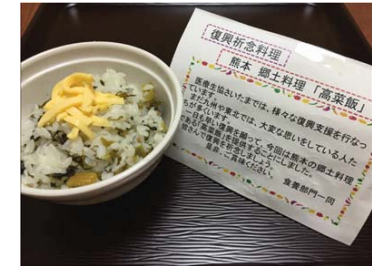
組合員さん・花かこの会のボランティアさんからの紹介もあり、概ね順調に介護職員を確保できていますが、さらなる紹介をお願いいたします。
熊谷や所沢など全県では、まだまだ足りておらず、引き続き確保活動をおこなってまいります。



みぬま☆広場

復興祈念献立の提供の取り組み

2011年3月11日に多くの命を奪った東日本大震災。そして記憶に新しい熊本地震。県連食養部会では2016年度4回の実施を目標に各被災地にちなんだ食材や郷土料理を使った復興祈念献立提供の取り組みを行っています。。みぬまでは第1回目の提供は12月7日実施の



「高菜飯」です。熊本県の郷土料理で、細かく刻み炒め



塩3：米麴5：米8の割合で合わせた漬け床に鮭を一晩漬け焼き上げました。ふっくらと



仕上がった鮭は利用者様にも大好評でお褒めの言葉をいただきました。

2月には東北にちなんだ「菊花となめこのおろし和え」、3月は11日に「復興祈念行事食」の提供を予定しています。311の大災害からもうすぐ6年が経とうとしていますが、いまだ地元へ帰れない被災者や疎開先でのいじめなど、震災の傷跡はまだ深く残っています。復興祈念献立を通じ、利用者様や職員に被災地について思いをさせる契機になってもらえればと思います。

食養部門

2回目は東北をテーマに1月に提供しました。まずは11日鏡開きの日におやつに東北の郷土料理のすんだ餅です。色よくゆでた枝豆を砂糖と共にすりつぶしおかゆを固めたソフト餅にかけて提供しました。続く17日の昼食には鮭の三五八焼きを提供しました。